

西郷の一生

1827年～ 鹿加男 島屋 下長る。の、れをつ

1844年～ 郡と 方書 役助を

1854年～ 島津 齊に 彬赴 命で

1858年～ 奄美 大島 島に 潜居。

1862年～ 鹿兒 島、 島に 帰郷す

1864年～ 薩摩 藩命 軍の 賦役代

1866年～ 坂本 龍考 馬允 仲介で

1868年～ 江戸 幕府 を たおす

「天を敬し、人を愛す」

西郷隆盛は幕末期の薩摩藩の武士で、故郷鹿兒島の盟友、大久保利通と共に薩摩藩をリードし王政復古を実現させ、徳川幕府を倒し、明治政府の成立に大きな貢献をした。維新後、封建制度下の特権を失った不平士族の首領となって西南戦を起したが政府軍に敗れ自刃しました。

「世のすべての人からうけなされても落ち込まず、すべての人から褒められてもうぬぼられるな」

「どんな人？」



維新を象徴する人物で、また西郷は、ふっくらとした体型で身長180cm以上あり、器の大きい人で最も日本人から愛された幕末の人物の一人です。

西郷

隆盛

立学校
町中
更栄
音共
1年A組
島山めい

1873年～ 明治政府を 辞職。

1874年～ 鹿兒島に 私学校

1877年～ 西南戦争(51歳) 西死

「人を責めるが加く、自己を責めよ」

幕府をたおす倒幕運動がおこり激しい戦いがくりかえされました。その中でも大きな力を

強い日本に

薩摩藩の武士であった西郷は、強い日本をつくるため、江戸幕府をたおして新しい政府をつくらうとしました。1850年ごろの日本は、外国から圧力を受け、国を開き、不平等な条約を結んでしまいました。西郷たちは、強い外国と対等にわた

明治時代

1868年に、幕府をたおした薩摩藩と長州藩が中心となり新しい政府がつくられました。明治時代の初まりです。木戸孝允は、明治天皇を中心とした新しい政府がつくられました。それは、「五か条の御誓文」として世の中に示されました。そして木戸は、日本のしくみを大きく変える改革を行いました。その一つが「廃藩置県」です。全国各地の藩を廃止し、代わりに県や府を置き役人を派遣しました。さらに「廃刀令」を出し、刀を捨てるように命じました。そして国民はみな平等とする「四民平等」の考えを打ち出したり天皇中心の国のしくみを整えました。

西南戦争

西南戦争は、明治政府に不満を唱えた元武士「士族」が起した内乱です。西郷は1873年に明治政府を辞職し鹿兒島に帰った西郷は多くの不満を持った士族を目的の当りにしました。

編集後記

私は、歴史新聞で西郷隆盛について調べてみて、西郷さんはとてもすごい人だなと思いました。また歴史新聞を作るのじつら、もつと西郷さんのことを調べたいです。

す。それで士族たちによる新政府への反乱を防ぐために私立校を鹿兒島各地に設立し、彼らの育成に励みます。しかし士族の不満は消えず、ついに西南戦争が勃発します。西郷は士族達のリーダーとなり戦います。激しい戦いの中、西郷が率いる薩摩軍はわがて政府軍におされていきま